

START.

長野の家づくりの特徴



1

長野の気候風土・特徴

✓ 寒暖差が激しい

盆地特有の“夏に熱がこもり、冬に冷え込む”気候で昼夜の寒暖差も激しいのが特徴です。日照時間がお家の断熱性・気密性の高さが快適な暮らしのカギになります。

✓ 山間部や傾斜地が多い

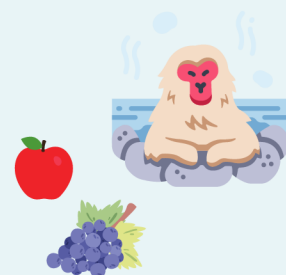
長野県の8割は山です。山間部や傾斜地は地盤が不安定な所もあるため、地盤調査をしっかり行いましょう。

✓ 日照時間が長い

中部や南部は全国的に見ても日照時間が長い地域。季節や環境に合わせて夏は日差しを防いで涼しく、冬は太陽の光を取り入れて暖かくする設計が必要になってきます。

✓ 雪の多い地域は工夫を

北信地域では日本海側の季節風が山にぶつかるため雪がたくさん降ります。積雪に耐えられるつくりや、屋根の雪対策、除雪の動線なども考慮しましょう。



2

長野の住宅性能基準

住まいの性能には様々な項目がありますが、特に大切なのが室内の快適性に直結する「断熱性能」。日本では、断熱性能の高さを7段階で表していて、国が定めている戸建住宅の基準は等級4（2025年現在）。しかし、寒暖差の大きい長野県では、国の基準より1段階上の**等級5**を推奨しています。



・もっと
知りたい方は
こちらから
CHECK!

お家の性能
「3つのポイント」



長野の
断熱性能について



そんな意識の高い長野県では、地域の工務店さんの「断熱性能」にかける思いも全国でトップクラスといえます。日本ではまだまだ少ない「等級6」や最高レベルの「等級7」というお家を標準仕様としている工務店さんも珍しくありません。長野で快適に暮らすために、**断熱性能**はぜひ知っておいてほしい大切なポイントなんです。